

戦評用紙

令和4年度

北河内地区 秋季大会

R4年 11月12日 時刻10:00

女子 【準決勝】

寝屋川三	50	[13- 8 5-16 18- 6 14- 6]	36	楠葉
------	----	-------------------------------------	----	----

第1Q	白④⑤⑥⑦⑩、黄④⑤⑥⑦⑩で試合開始。白は⑦のドライブからのバスケット カウントで先制する。その後も白は⑦のドライブや長距離の3Pなど⑦を中心としたOFを行う。 対する黄は⑩や⑥の速攻で対抗する。両者果敢に攻めるも得点につながらず、白13-黄8 で第1ピリオドを終える。
第2Q	白④⑤⑥⑦⑩、黄④⑤⑥⑧⑩で第2ピリオドスタート。白は④のゴール下や⑥ の3P、黄は⑩の3Pで両チーム得点を重ねる。残分2、黄は⑩がドライブからファールを誘い、 フリースローを2本決めて逆転する。その後黄は⑤のドライブや⑩の3Pで得点し、白18-黄24 で前半を終える。

第3Q	白④⑤⑥⑦⑩、黄④⑤⑥⑧⑩で後半開始。開始直後、白は⑤⑦の3Pや⑥の ドライブで逆転し、黄はタイムアウトをとる。タイムアウト後も白⑥⑦の勢いは止まらず、ドライブ や3Pで得点を重ねる。対する黄は⑩がブザービーターで3Pを決め、白36-黄30で第3ピリ オド終了。
-----	--

第4Q	白④⑤⑥⑦⑩、黄④⑤⑧⑨⑩で第4ピリオド開始。白は④が果敢にリバウンド をとり、⑥の3Pや、⑦のドライブで得点する。対する黄はDFで白に激しいプレッシャーを与える も、中々得点につながらない。白は⑩⑥の外からのシュートや、④のゴール下で得点、黄は⑤ や⑩のドライブで対抗するも、点差は縮まらず、白50-黄36で試合終了。
-----	---

(戦評/中宮中:北川)

戦評用紙

令和4年度

北河内地区 秋季大会

R4年 11月12日 時刻9:30

女子 【準決勝】

枚方

60

〔 13- 6
14-20
17-12
16- 8 〕

46

樟風

第1Q

スタートは白④⑤⑥⑧⑨、紺④⑤⑥⑩⑪。白はパスをまわしてドライブで得点

を重ね、DFでも紺にプレッシャーをかける。紺は序盤はトラベリングやDFで苦戦するが、⑤の

ステップインシュート④のドライブで対抗する。流れは白で、白④の1on1からのドライブやミドル

シュートが印象的であった。1ピリは13-6で白リード。

第2Q

スタートは白④⑤⑥⑧⑨、紺④⑤⑥⑦⑩、紺はオールコートマンツーマンDFで

プレッシャーをかけ、流れが紺に。白は1P同様に④を中心に攻めるが、紺は⑤、⑧の3P、速攻

でも得点を重ねる。点差がつまり、タイムアウト後、お互いに点を取り合い、27-26白リードで

2ピリ終了。

第3Q

スタートは白④⑤⑥⑧⑨、紺④⑤⑥⑩⑪。開始からお互いに点を取り合い、流

れがどちらの方にもいかない中盤に、白がボール運びの際のプレッシャーを高め、紺はタイム

アウト。少し流れが白に行き、44-38白リードで3ピリ終了。

第4Q

スタートは④⑤⑥⑧⑨、紺④⑤⑥⑦⑩。紺のドライブでピリオド最初の得点。

紺はミドルシュートを打つも、入らないシーンが増える。白はDFでがんばり、ハーフコートを通

ぎたあたりでダブルチームをかけ、速攻で突き放す。終盤も白のDFからのプレッシャーで流れ

を渡さず、60-46で白の勝利。

(戦評/門真四中:相見)

戦評用紙

令和 4 年度

北河内地区 秋季大会

令和4年 11月12日 時刻 12:40

女子【決勝】

寝屋川三 32 [8-17
6-24
6-16
12-9] 66 枚方

第1PD

白④⑤⑥⑦⑩、黒④⑤⑥⑧⑨で試合開始。黒の攻撃で始まり、なかなかシュー

トが決まらない。黒⑨のジャンプショットで流れをつかむ。白⑤が得点を返すが、黒の速攻が続く。

残り4分黒のパスミスが多くなり、うまく攻められない中、白⑥のタイミングをずらしたランニングシ

ョットが2本続く。黒はDFのプレッシャーを強くすることで、流れをつかんだところで1Q終了。

第2PD

白④⑤⑥⑦⑩、黒④⑤⑥⑨⑩で2Q開始。黒、当たりの強いDFでボールを取り

返す。黒⑤の速いドリブルインと黒④の力強いステップシュートが続き、点差を離していく。白⑦、

⑩の諦めないDFで点の動きが収まった。残り2分、白⑤、⑦の得点で白14-黒41で2Q終了。

第3PD

白④⑤⑥⑦⑩、黒④⑤⑥⑦⑧で3Q開始。黒オールコートマンツ-を継続し、

速攻からのシュートチャンスをつくる。白も負けずに攻め続け、白④⑦の1on1で流れが良くなる。

残り4分、白⑤⑦の3Pで、得点を重ね、そこで黒メンバーチェンジ。⑨⑩⑪⑫⑬でハーフから守

る。黒のダブルチームでDFEが続き、白20-黒57で3Q終了。

第4PD

白④⑤⑥⑦⑨、黒④⑤⑥⑦⑧で4Q開始。スタート白の3Pで始まる。黒のオー

ルコートマンツ-を中々突破しづらい中、白⑥の3P、白⑦の落ち着いたフリースローで展開する。

残り3分、黒メンバーチェンジでDFEが激しくなる。白の得点を許さず、黒⑩の速いドリブルで相手

を混乱させた。当たりの強い甲種となり、白32-黒66で試合終了。

(戦評/四條畷西中:島)

戦評用紙

令和4年度

北河内地区 秋季大会

令和4年 11月12日 時刻 11:10

男子【準決勝】

寝屋川八	43	[10-08 07-21 10-18 16-14]	61	樟風
------	----	--------------------------------------	----	----

第1PD	白4・5・6・8・17、黒4・6・7・8・9でスタート。両チーム、ハーフマンツウから始まる。
白8がリバウンドからの速攻で先制すると、黒4のアウトサイドシュートで応戦。その後は、白は4のインサイドプレーを中心にゲームメイクしようとするが、攻守にはばまれる。一方、黒も攻守から速攻までつながる場面があったが、なかなか得点を重ねることができない。両者、タイムアウトを使ってリズムをつくろうとするが、10-8で1Q終了。	
第2PD	第1Qと両チーム同じメンバーでスタート。開始から黒が2本連続で、DFから速攻を決め、白がたまらずT.O.。しかし、T.O.明けから、黒はオールコートDFで、さらに強度をあげてDFで仕かける。そこから黒が一気に流れをつかみ、連続で得点を重ねる。白も4・8のピックプレーから組み立てようとするが、なかなかシュート決まらず、前半を17-29で折り返す。

第3PD	白4・6・8・10・17、黒4・6・7・8・9でスタート。後半も、黒はオールコートマンツウを
継続させたまま、DFでリズムをつくり、簡単に得点を重ねていく。一方、白は苦しみながらも、4のインサイドプレーやオフェンスリバウンドで何とか食らいつこうとする。しかし、その差はなかなか縮まらず、27-47で第3Q終了。	

第4PD	白4・6・8・9・17、黒4・7・8・9・12でスタート。残り6分で白4が5ファールで退場となり、
白がタイムアウトで一旦落ち着こうとする。その後、白8や6の1on1で何とか流れを引き寄せようとするが、反撃もそこまで。43-61で試合終了となり、樟風中学校が決勝へ駒を進めた。	
(戦評/枚方4中:眞田)	

戦評用紙

令和 4 年度

北河内地区 秋季大会

令和4年 11月12日 時刻 11:10

男子【準決勝】

長尾	54	[14-09 11-10 15-11 14-23]	53	枚方四
----	----	--------------------------------------	----	-----

第1PD

白(長尾)00・8・18・23・34、黒(枚方四)4・5・7・8・9でスタート。白がドライブで中に

切り込み、外にパスをさばきシュート。リバウンドをおさえ、リズムをつくる。黒は5晩中心に1on1を

仕掛け、白に対抗する。白が空中を制し、00番が得点を重ねる。白が5点リードで1ピリオドを終える。

第2PD

白00・8・18・23・34、黒5・7・8・9・10でスタート。白00番のバスケットカウント3点プレー

で得点。すぐさま黒7番の速攻で2点かえす。黒5、7番のコンビネーションで追い上げる。黒5番の

連続得点で、流れは黒に。悪い流れを白23番のドライブで断ち切る。6点差で白リード。

第3PD

白00・8・18・23・34、黒4・5・7・8・9でスタート。黒4版が3Pを決めるが、個人ファウル

4つ目でベンチへ。黒は1on1で得点を決め、白はゴール下で点数を広げていく。10点差まで広がった

点数を、途中交代した黒14番の得点で流れが変わり、点差を1桁まで戻す。白23晩のフリースローで

10点差白リード。

第4PD

白00・8・18・23・34、黒5・7・8・9・10でスタート。白は23番を中心に、黒は5番中心に

一進一退の攻防がつづく。残り1分、点差は7点。黒のオールコートマンツーマンで3点差。黒の

パスカットからの速攻で点差はついに1ゴール。最後に黒のファウルが重なり、フリースローを

しっかり決めた白の勝ち。

(戦評/諸福中:杉本)

戦評用紙

令和 4 年度

北河内地区 秋季大会

令和4年 11月12日 時刻 14:10

男子【決勝】

樟風

74

〔 26-08
18-10
18-09
12-04 〕

31

長尾

第1PD

白4・6・7・8・9、青00・8・18・23・34でスタート。開始直後、青23がドライブから得点

すると、白7もすぐにドライブでやり返し得点。白は激しいオールコートディフェンスでターンオーバーを

さそうと、一気に流れをひきよせ、7・9を中心に得点を重ねる。青は8・23が果敢に攻めるが、

白が積極的に守り、リードを広げ、26-8で1Qを終える。

第2PD

白4・6・7・8・9、青00・8・18・23・34でスタート。白は7・9の1on1、速攻で確実に

得点していく。青も23の3P、34が合わせからゴール下を決める等、見せ場をつくるが、白が速い

展開でリードを広げていく。44-18で前半を終える。

第3PD

白4・6・7・8・9、青00・8・18・23・34でスタート。後半に入っても白がディフェンスを

徹底し、青の攻撃の芽をつんでいく。青は00の3P、23のスティールから得点し、食い下がるが、

白は6のドライブ、10が3Pを決め、流れをゆずらない。62-27で3Qを終える。

第4PD

白6・7・8・9・12、青00・8・7・23・34でスタート。4Qに入っても、白は徹底的に1対1を

守り切り、終始ペースをゆずる事はなかった。青も最後まで果敢に戦いぬく、好ゲームであった。

最終スコア74-31。

(戦評／中：)